

富屋地区
シンボルマーク

みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

116号

2026 (令和8年)
1月発行

広報とみや

史上初!

上横倉の獅子舞が海を渡り舞を披露! 沖縄の人々を魅了する!!!



11月23日(日)、友好都市沖縄県うるま市で行われた「第37回全島獅子舞フェスティバル」に、「上横倉の獅子舞」が宇都宮市を代表し公演をしてきました。このフェスティバルは、世界遺産勝連城跡を舞台に、沖縄全島から選りすぐりの獅子舞が集合し、それぞれが趣向を凝らした舞を披露するうるま市最大級のイベントです。

関白町から約190年前に伝わったとされる「上横倉の獅子舞」の歴史の中で、市を越え、海を越え公演をするのは史上初の試みでしたが、約3000人の観衆の前で見事な舞を披露してまいりました。公演後は、盛大な拍手と指笛が会場中に鳴り響きました。



きっと沖縄の人々の眼と心にその勇壮な舞が刻み込まれたことでしょう。沖縄での公演を無事成功できたことを誇りに思います。

当日の様子は、うるま市公式YouTubeでも配信中です。富屋の皆様も、その雄姿をぜひご覧ください。



YouTube

(上横倉の獅子舞保存会)



自治会だより

アクティブシニア



少子高齢化の進む昨今、山王団地でも高齢者のいる世帯は53%を超えていると思われます。そんな中でも山王団地には『お元気くらぶ山王会』と『サロンかるがも』があり、山王会では卓球やカラオケ、輪投げなど、かるがもではボッチャや吹き矢、ピクニックなど様々な活動をしているアクティブシニアがいらっしやいます。高齢者単身世帯も多いですが仲間と集まり、集会所などには笑い声が響いています。

体を動かすことだけでなく、お互い声を掛け合い、見守り合う、そんな温かい関係性がとても素敵だと思います。そして、その人生の先輩方が持つ知識と経験に助けられ、この私、自治会長をどうにか務められております。今後、団地全体にもアクティブシニアのより良いコミュニティが広がることを願いつつ心からの感謝を込めて…

(山王団地自治会長 小堀ひとみ)

「とみや日本一の夫婦けやき」 地域ブランドプロジェクト

11月24日付の下野新聞、12月4日付の毎日新聞にも掲載され、「日本一の夫婦けやき」が多くの方の目に触れるようになってきました。本広報誌115号にもプロジェクトの内容をお知らせしましたが、その後、着々と計画が実現しています。

(1) 企画展「智賀都神社と夫婦けやき」(12月末日まで) (2) 「御樹印」の作成

枝の輪切り(年輪350年)や写真約50点を展示しました。



富屋特別支援学校とコラボし、今後も作成予定です。



(3) 「ポスター」が完成!!

各自治会・関係施設等に配付しました。



(4) 「夫婦けやきの民話」が完成!!



外鯨宮司の協力により完成し、宮のかたりべ有岡光枝さんによる「夫婦けやき」の朗読を収録しました。[とみやの民話]



(5) 本プロジェクトアドバイザー池田貞夫氏による「記念講演会」を開催(11月27日)

地区内外から120名が参加し、大盛況でした。講演は、「徳次郎」「智賀都神社」「夫婦けやき」の3部構成で、最後に「夫婦けやき」の朗読を聞き余韻の残る講演となりました。



富屋に学ぶ子どもたち

〇晃陽中学校「生徒数が減っても晃陽中生は元気です！」

本校は今年度で創立56年目を迎えます。創立当時の生徒数は380名。昭和62年度には最多493名でしたが、ここ2年間は約20名ずつ減少し、今年度は1年生が本校初の単学級、合計122名です。そして、今後の新入生はしばらく単学級が続く、2年後以降は全校生徒100名前後で推移する予定です。大規模校経験のある私は、2年前、全校生徒を目の前にした際、少人数であったかい雰囲気だと感じたと同時に、学校行事や授業などで活気あふれる姿が見

校長 河内 哲也



体育祭



合唱コンクール

れるのだろうか、とも感じました。しかし、そんな思いはすぐに吹き飛び、生徒数が減少しても勢いそのまま、生徒たちは何事にも素直でまっすぐに取り組んでおり、今後もその勢いが衰えることはないでしょう。地域や保護者の皆様にはこれからもお世話になりますが、今後とも、本校教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



晃陽中HP



雨雲を吹きとばせ!! ファイト!とみや2025



10月25日(土)に、富屋小学校校庭において、富屋小学校と富屋地区体育協会の共催による「ファイト!とみや2025」が開催されました。『仲間と共に燃えあがれ 力と絆で勝利へと』をスローガンに、雨の中での開会式が行われました。いざ競技が始まると降っていた雨が上がり順調に競技が進みました。

子供たちは応援合戦やダンスなどの表現種目、大玉ころがしなどの団体種目に全力を出して頑張っていました。また、地域の皆さんも各自治会からの代表による玉入れや綱引き、障害物競走など、大きな声援を受けて張り切って競技を行っていました。富屋地区住民が一堂に会して親睦を深めることができた「ファイト!とみや2025」でした。今年も、晃陽中学校の生徒が審判や準備などの手伝いをしてくださったお陰で、競技がスムーズに進行できました。

地区対抗の総合成績は、優勝が中町、準優勝が南部、第3位が東部でした。



地域をあげての とみやふるさとまつり

11月2日(日)に、快晴の空の下、とみやふるさとまつり実行委員会の主催による「とみやふるさとまつり」が富屋地区市民センターを会場に盛大に開催されました。

ロビーでは、「日本一の夫婦けやきプロジェクト」の展示、ホールでは、学校や地域の皆さんの作品が展示されるとともに、カラオケ交流会が行われました。

屋外では、子供たちが参加するチャレンジコーナーや野菜販売コーナーなど、コーナーがたくさん設置され、どこも列ができる賑わいでした。イベント広場では、お囃子やダンスなどの演技が披露されました。

最後は、日光和楽踊りをみんなで踊ることでこのまつりがさらに盛り上がり、地域の皆さんの気持ちが一つになったイベントとなりました。



ふるさと再発見⑨

大網の毘沙門神社



大網道を北上すると北に毘沙門山が見え、その麓に清流田川に架かる橋、毘沙門橋があります。その橋を渡り、ほどなくして右手の山裾に見えるのが毘沙門神社です。うっそうとした山中に石段があり、鳥居をくぐるとその先に巨大な岩を背にした石祠が待っています。石祠の内部には、小さな石像(写真)があります。これが毘沙門天です。

毘沙門天は仏法の守護神とされ、その姿は武将姿で甲冑を身に着け、右手に武器を持ち、左手に宝塔を捧げています。大網にある毘沙門天は、高さ25cmほどの小さな石像で、右手に長い鎌槍を持ち、左手に宝塔を捧げています。毘沙門天がいつ頃祀られたのか定かではありませんが、一説にはこの地を治めた岡平城主、新田信濃守義盛の守り神であったとも伝えられています。当該神社は現在、大網町下組によって管理され、五穀豊穰、商売繁盛の神として信仰されています。祭礼日は正月3日と旧暦9月29日の2回です。(文化財調査員 池田貞夫)



第3回日光街道18番目の徳次郎宿ツアー！

11月30日(日)に富屋地区まちづくり連絡協議会主催の「第3回歩いて知ろう！日光街道18番目の徳次郎宿ツアー」があり30代から80代の31名が参加されました。今回のコースは下徳次郎宿と中徳次郎宿の文化財や日本一を誇る夫婦けやきがある智賀都神社をじっくり見て回る5kmのコースでした。宿場では地区の方の配慮で、きめ細かな徳次郎石造りの家や「石蔵の窓彫刻」を間近に見せていただき、徳次郎宿に関わりのある歴史遺産を「富屋地区ガイド養成講座」を修了した



「徳次郎宿案内人」が説明を加えながら案内しました。晴天の下、5kmのコースを3時間で散策してきた参加者の皆さんからは、「徳次郎宿に、こんなにたくさんの歴史遺産が残されていて驚きました。」「説明付きで屋台が見られてよかったです。来年も参加します。」などの嬉しい感想をいただき、歴史遺産残る徳次郎宿の魅力を感じ取っていただけたようでした。



とみやそばまつり

富屋地区まちづくり連絡協議会主催による「とみやそばまつり」が、11月30日(日)に開催されました。そばクラブのメンバーが腕をふるっておいしいそばを提供してくださいました。

婦人会の皆さんが配膳に協力してくださりスムーズに会の運営が行われました。地元大網のそば粉を使用して、新そば・二八そばを手打ちで作ってくださり、予定の400食を超すそばが用意され、皆さんが舌鼓をうちました。地元の粉は風味があり、「手打ちのそばはこしがあって、とてもおいしい。」と好評でした。同日行われた『徳次郎宿ツアー』の参加者の方もツアーから戻ると、笑顔でそばを味わっていました。



永きにわたる貢献に表彰状が贈られました

おめでとうございます

木立 博さん(門前)

木立さんは、10年にわたり福祉協力員として地域住民の福祉活動を推進してきました。このことが認められての表彰です。



小池 徳子さん(上町)

小池さんは、5年以上、赤い羽根がシンボルの共同募金運動に協力し、地域福祉の推進に努めてきたことが認められました。



富屋地区のデータ (令和7年11月末日現在)

世帯数 1,611世帯
総人口 3,242人
男 性 1,522人
女 性 1,720人

今後の主な事業計画

1月11日(日) 二十歳を祝う成人のつどい
1月12日(祝) タコあげ大会
1月18日(日) 不法投棄パトロール
1月24日(土) 富屋地区まちづくり懇談会

編集・発行

富屋地区まちづくり連絡協議会
〒321-2116
宇都宮市徳次郎町80番地2
(富屋地区市民センター内)
☎028-665-1663